



カブト虫相撲大会

7月21日(日)、町総合体育館において、社会福祉法人愛生会が主催する「第36回カブト虫相撲大会」が開催されました。

本大会を楽しみに、県内外から多くの参加者や保護者などが集まり、エントリー数約600名、来場者数約2,000名となりました。

開会式では、オープニングセレモニーを愛生会の施設利用者が務め、歌に合わせてダンスを披露し、会場からは大きな拍手が沸きました。

競技は、小学生の部「相撲」「競歩」、未就学児の部「綱渡り」「カくらべ」がおこなわれました。参加者は優勝めざして自慢のカブトムシで競い合いました。

メインの種目となる「相撲の部」決勝戦は、会場中が注目する中、熱戦が繰り広げられ、決着がつくと大歓声が沸き起



りました。「相撲の部」で優勝した大崎小学校3年生の山田碧海さんは「優勝できて嬉しかった。足の強さ、角が太かったので勝てたと思う。次も優勝したい」と話してくれました。「競歩の部」では志布志小学校6年生の山崎直樹さんが、「綱渡りの部」では有明保育園池之迫葉己さん、「カくらべの部」では信愛こどもの園の原田愛子さんが優勝されました。

閉会式で、愛生会の新平金道理事長は「今日活躍してくれたカブトムシを森に返してあげてください。そして来年、その子どもたちが生まれて元気に成長できるように、故郷の自然環境を大切にしてください」と参加者に呼びかけました。

